



Q1 沖縄音楽のルーツはどこ?



世界と
つながる
講座

独自に発展した沖縄の音楽。そのルーツや海外とのつながりについて学んでみましょう。



A 中国の影響は
大きいけれど、
実はいろんな説があるんだよ



中国の影響は
大きいけれど、
実はいろんな説があるんだよ

沖縄音楽という、民族などで聞かれる発祥の音階を思い浮かべる人が多いことでしょう。日本でこの音階を使っているのは沖縄だけでなく、海外に目を向けると、インドネシアや中国などアジアの様々な国で似たような音階が使われています。ただ、どこから伝わったのか、それとも自然に生まれたのか、それと区別で、多くの学者がいろんな説を唱えています。また、三線や三板といった楽器の多くは琉球王国時代の交易でもたらされたものが多く、やはり中国からの影響は大きいといえるでしょう。

一方、戦後の米軍統治下時代には、欧米のポピュラー音楽が盛んに聞かれるようになり、ロックやジャズ、そして民謡にまで影響を与えています。まさに、沖縄音楽はチャップリンされて発展していったのです。

米軍からの影響でロックが発展

OKINAWAN ROCK



1960年代半ばより、在留米兵受けするロックバンドが絶々と登場しました。とくに、「楽」や「コンディショングリーン」といったハードロック・バンドは、沖縄だけでなく本土進出も成功。音楽ファンの間では今も「沖縄＝ロック」という図式が浸透しています。

沖縄音楽特有の琉球音階は、ド・ミ・ファ・ソシの5音で構成されています。インドネシアのガムラン音楽や、中国南部やポリネシア、ヒマラヤ方面の民族にも似た音階が存在するようです。近年はロックやポップスで使われることも一般的になりました。



ド・ミ・ファ・ソ・シの
5音から成る♪

琉球音階は
中国や
インドネシアなど
共通する



三線は中国の三弦から



中国の三弦



中国の三弦

沖縄音楽の象徴である三線は、中国福建省で生まれた弦楽器の三弦が原型です。形はほぼ同じですが、三弦の方が棒は長いのが特徴。また、三線の楽譜「工工四(くんくんしー)」も三弦で使う記譜法「工六四(くるんしー)」を参考にしました。

Q2

海外で
知られている
沖縄の歌は?

A みんなが知っている
あの曲は海外でも
大ヒットしたんだよ。



すっかり沖縄の
歌として定着した
THE BOOMの
「島唄」ですが、
アルゼンチンのタ
レント、アルフ
リード・カセーロ
が日本語のままでも
歌ったところ、2001年に現
地で大ヒットを記録。それを
きっかけにお互い交流が生ま
れ、「島唄」はFIFAワールド
カップのアルゼンチンチーム
の応援歌となり、紅白歌合戦で
共演して話題を呼びました。



THE BOOMのボーカルと
アルフレード・カセーロ

また夏川りみが歌った「涙そ
うそう」は、ハワイの人気歌手
ケアリー・レイシエルが「カ
ノホナ・ピリ・カイ」というタ
イトルで歌いヒットしています。
実は、海外で知られている沖縄
の歌はたくさんあるのです。

海外で活躍

沖縄アーティスト

彼らは実際に海外でライブを行い、高く評価されました。要チェックです!



KACHIMBA4

サルサと民謡をミックスさせるなど、沖縄ならではのラテン音楽を生み出すバンド。本場のキューバでも活躍。



THE SAKISHIMA meeting

石垣島出身の新島幸人と宮古島出身の下地イサムによるユニット。民謡をベースにジャンルを越えた音楽を追求。



マルチーズロック

1997年に結成されたロックバンド。パンクやブルース、ジャズや音楽などを取り入れ、独自の世界を表現している。



沖縄の音楽産業の振興を沖縄21世紀ビジョンに位置づけ、今後沖縄文化を軸とした海外との交流、魅力的な発信を推進していきます。



■各国の音楽関係者によるカンパレンスの様子
■海外の音楽見本市では沖縄のアーティストを紹介
■文楽することで新しいアイデアが生まれている



「Trans Asia Music Meeting」では、アジアを軸から音楽関係者
「Trans Asia Music Meeting」これは、松坂劇場を運営する株式会社フロンティアが、興と公益財団法人沖縄県文化振興会の支援を受けて始めた、沖縄と近隣アジア諸国との文化交流ネットワーク構築を目的とする事業の一環です。

が寄せられている。興では、機会が奪われること動かし、期待を高められている。興では、期待を奪われること動かし、期待を高められている。興では、期待を奪われること動かし、期待を高められている。

「二〇数年、音楽を通じて沖縄とアジアの交流が盛んになっていきます。その中核となっているイベントが、2015年より毎年開催されている「Trans Asia Music Meeting」です。これは、松坂劇場を運営する株式会社フロンティアが、興と公益財団法人沖縄県文化振興会の支援を受けて始めた、沖縄と近隣アジア諸国との文化交流ネットワーク構築を目的とする事業の一環です。



Q3



沖縄の音楽は世界とつながる?



者を抱いて課題や発展などを公開で話し合うカンパレンスをを行うほか、県内や海外のアーティストのショーケースライブや、音楽関係者の交流会も開催しています。これらによって、個別ではなかなか売れ込めのが難しかった海外の音楽フェスティバルなどのイベントに、沖縄のアーティストが招待される機会が増え続けています。

また、音楽レーベル「MUSIC from Okinawa」も生まれ、沖縄の才能あるアーティストを国内外に紹介するためのCDも制作されています。多角的に沖縄音楽を発信するこの動きは、期待が寄せられている。興では、期待を奪われること動かし、期待を高められている。

沖縄が世界に開く音楽を聴こう!



「Music from Okinawa 2018」

上で紹介した3組をはじめ、16組のアーティストによる楽曲を収録。ロック、ポップス、ジャズ、ヒップホップ、民謡と、ジャンルもバラエティに富んでいる。現在進行形の沖縄音楽がいかに豊潤なのかが伝わる内容。



「BLOOD LINE」 喜納昌吉&チャンプルーズ

「花〜すべての人の心に花を〜」のオリジナルが輝ける名曲。この曲は世界60か国以上で歌われている。

写真提供：喜納



「ケアラオカマイレ」 ケアリイ・レイシユル

ハワイを代表する歌手が「涙そうそう」を国語版でカバー。まるでオリジナルのように聴こえるのが不思議。

写真提供：ヒラタ・タカフミ



「島唄」 THE BOOM

オリジナルだけでなく、ウチナーグチバージョンやアルバム・リード・カセットの音も収録された全編集。

写真提供：ソニー・ミュージック

海外との交流が深まれば、新しい沖縄音楽が生まれるはず



11月は「伝統的工芸品月間」です!

工芸品の宝庫、沖縄

沖縄県には、長い歴史・風土の中で育まれた多彩で魅力的な工芸品が溢れています。国の指定を受けた伝統工芸品が15品目あり、これは全国4位の数です。中でも染織物が13品目で、染織物に限ると全国1位となっています。

国では、伝統的工芸品に対する理解とその一層の普及を目指し、昭和59年から毎年11月を伝統的工芸品月間と定め、全国各地において普及啓発事業を行っています。

県内でも、本月間に市町村や事業者により様々なイベントが実施され、沖縄県でも「第41回沖縄県工芸公募展」を開催しますのでぜひご来場ください。

国指定「伝統的工芸品」一覧

1 久米商標	9 琉球漆器
2 宮古上布	10 与那国織
3 読谷山花織	11 喜如高の芭蕉布
4 読谷山ミンサー	12 八重山上布
5 慶屋織	13 八重山ミンサー
6 琉球餅	14 如花花織
7 首里織	15 南風原花織
8 琉球びんがた	

(平成30年10月31日現在)

第41回沖縄県工芸公募展

伝統的な工芸品の良さに加え、新たな機能美や付加価値を備えた作品を幅広く募集し、コンクールを実施することにより、生産者の意欲の高揚、技術、デザイン開発力の向上を図っています。



日時 平成30年11月1日(木)～4日(日) 10:00～18:00
(※1日は11:00～18:00、4日は10:00～16:00)

場所 沖縄県立博物館・美術館 泉民ギャラリー1・2・3

その他、工芸関係イベント情報

◆第42回首里織展

日時 平成30年11月15日(木)▶18日(日)

場所 那覇市ぶんかてんふす館 3階ギャラリー

◆第42回琉球びんがた総合展

日時 平成30年11月22日(木)▶25日(日)

場所 那覇市ぶんかてんふす館 3階ギャラリー

◆第39回壺屋陶器まつり

日時 平成30年11月23日(金)▶25日(日)

場所 那覇市立壺屋小学校

その他、工芸産業を元気にするため、こんな事業も行っていきます!

担い手の育成

沖縄の工芸品は、ほとんどが手仕事により生産され、その技術・技法の習得には長い期間を要し、後継者の確保が課題となっています。県では、従事者の確保及び育成を図ることを目的に、各産地で実施している後継者育成事業への補助及び各種人材育成事業を実施し、沖縄の伝統技術を学び、工芸産業を担う人材の育成を支援しています。



びんがた制作

新たな製品づくり

現代のニーズにマッチした工芸品を生み出し、新たな需要を開拓していくため、意欲のある事業者の発案と製品製作の支援を行っています。

昨年度は、6事業者が本事業を活用し、48アイテムの製品が開発されています。



新製品展示

問い合わせ

ものづくり振興課 電話：098-866-2337

FAX: 098-866-2447



～さあ、再び世界へ～

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の
世界自然遺産登録の「延期」勧告と再出発

世界自然遺産登録を目指すやんばる地域及び西表島

日本最大級の亜熱帯照葉樹林が広がる、ヤンバルクイナをはじめとする希少な動植物が生息・生育するやんばる地域、そして広大なマングローブ林や原生林を有し、イリオモテヤマネコを頂点とする生物多様性豊かな生態系が形成されている西表島は、鹿児島県の奄美大島及び徳之島とともに、世界自然遺産登録を目指しています。



世界自然遺産登録に向けたPR

遺産登録に向けた昨年の現地調査

平成29年2月に世界遺産登録に係る推薦書がユネスコ世界遺産センターに提出され、同年10月には訪朝機関IUCN(国際自然保護連合)の専門家による現地調査が行われました。

やんばる地域では、亜熱帯照葉樹林やヤンバルクイナの保護関係施設の視察、夜間密猟・盗採パトロールへの同行等が行われ、西表島では、イリオモテヤマネコの生息環

境や交通事故防止対策の視察等が行われ、環境省、沖縄県、地元関係団体等から様々な取組について説明を行いました。



平成29年10月のIUCN専門家による現地視察(西表島)

IUCN(国際自然保護連合)による「延期」勧告

平成30年5月4日、IUCNの評価結果として日本政府に「延期」が相当との勧告がなされ、同年6月に推薦を一旦取り下げました。延期の主な理由は次のとおりです。

- ① 分析された小規模な区域が複数含まれていること。
- ② 北部訓練場返還地が推薦地に含まれていないこと。

再び登録に向けて出発

これらの課題解決に向けて、世界自然遺産候補地科学委員会における有識者からの助言等を踏まえ、国において推薦区域の見直しを行っています。

IUCNからの勧告は「延期」であったものの、勧告に沿って修正を行えば、世界遺産の価値に該当する可能性があるとして評価されており、確実かつ可能な限り早期な遺産登録に向けて、現在、関係機関が一丸となって再スタートを切っています。

世界自然遺産登録はゴールではありません。この取組をきっかけに、これからもやんばる地域と西表島の自然環境の保全に取り組んでいきます。

問い合わせ

自然保護課 電話:098-866-2243 FAX:098-866-2855

広告

情報ひろば

2018年11月

11

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

イベント

▼計量のひろば

11月1日は計量記念日です。関連行事として、計量についての楽しいイベントを開催します。

●日時 11月2日(金)11時～16時まで

●場所 イオン南風原店1階

●イベント広場

●問合せ 県計量検定所

☎098-889-2775

▼保育士合同就職説明会

●日時 11月10日(土)

●会場 沖縄女子短期大学

●備考 駐車場完備/無料託児あり/事前申込不要/就職相談会も同時開催

●問合せ 沖縄県保育士・保育所総合支援センター

☎098-857-4001

▼沖縄県青少年育成大会

11月は子供・若者育成支援強調月間です。県では、青少年の健全育成に対する理解を深めるため、青少年育成大会を開催します。

●日時 11月15日(木)13時30分～16時20分

●場所 県庁4階講堂

●備考 入場無料。来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

●問合せ 県青少年・子ども家庭課

☎098-866-2174

▼沖縄県産業教育フェア

「我らの技術 受け継ぐ伝統 新たな未来への可能性」をスローガンに、第22回沖縄県産業教育フェア(高校)生美ら産フェアが開催されます。

●日時 11月16日(金)～17日(土)10時～16時

●会場 浦添市民体育館

●問合せ 教育庁県立学校教育課
☎098-866-2715

▼那覇空港「空の日」開催

●日時 11月17日(土)9時～15時頃まで

●場所 那覇空港国内線ターミナルビル

●備考 各航空会社が企画した楽しいイベントが盛り沢山。

●備考 ご来場の際は公共交通機関をご利用願います。詳しくは空の日のネット上で検索。

●問合せ 空の日実行委員会(国土交通省那覇空港事務所)

☎098-857-1101

▼OISTサイエンスフェスタ

科学の不思議を体感できるプログラムを用意して、皆様のご来場をお待ちしています。

●日時 11月17日(土)

●場所 沖縄科学技術大学院大学(OIST)

●問合せ OIST地域連携セクション

☎098-969-8988

▼第75回文化講座

「琉球列島で沈没した異国船の調査と研究」

●日時 11月17日(土)13時30分～15時30分

●会場 県立埋蔵文化財センター研修室

●備考 申込不要、参加費無料

●問合せ 県立埋蔵文化財センター調査班

☎098-835-8752

▼第14回「こころの芸術文化フェスティバル」

精神に輝がいを持つ方々による優れた作品(絵画・書道・陶芸・文芸・写真・手工芸など)を多数展示します。

●期間 11月21日(水)～25日(日)

●場所 県立博物館・美術館1階 県民ギャラリー

●備考 入場無料

●問合せ 沖縄県作業療法士会

☎098-988-3711

▼縄文と沖縄展

博物館特別展「縄文と沖縄」火焙型土器のシンボリズムとヒスイの道を開催します。

●会期 11月22日(木)～平成31年1月20日(日)

●時間 9時～18時(金・土は20時まで)

●会場 県立博物館・美術館3階

●企画展示室、特別展示室

●問合せ 県立博物館・美術館

☎098-941-8200(代表)

▼おきなわ国際協力・交流フェスティバル

県内自治体、企業、NPO団体等による展示やワークショップの他、JICA研修員との交流やステーションイベント、多国籍屋台など内容盛り沢山です。

●日時 11月21日(水)10時～17時

●会場 24日(土)10時～16時

●場所 JICA沖縄センター

●問合せ JICA沖縄
☎098-876-6000

企画展

「沖縄県の水・沿岸遺跡」

- 会期 11月25日(日)
- 会場 県立埋蔵文化財センター
- 企画展示室
- 休所日 月曜、11月23日(金)
- 備考 入場無料
- 問合せ 県立埋蔵文化財センター調査班
☎098-866-8752

第19回特別企画展の開催

- 平成30年度特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」を開催します。
- 会期 12月9日(日)
- 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 会場 県平和記念資料館
- 備考 入場無料
- 問合せ 県立平和記念資料館
☎098-997-3844

全国女性会館協議会 第62回全国大会in沖縄

- 「女性活躍推進社会の光と影」をテーマに、上野千鶴子氏による基調講演とパネルディスカッションを開催します。
- 日時 12月6日(土)14時～17時40分
- 参加費 無料
- 会場 県男女共同参画センター1階「ていごる」ホール
- 申込締切 11月22日(木)
- 問合せ (公財)おきな女性財団
☎098-866-3717

県民の森きずな駅伝大会

- 開催日 12月15日(土)
- 応募期間 11月30日(金)
- 会場 県民の森
- 申込窓口 県民の森総合案内棟又は沖縄北部森林組合
- 種目 個人
- ①家族で力を合わせて「ファミリー駅伝コース」(区間5.5㎞)
- ②仲間と走る「きずな駅伝コース」(5区間12.1㎞)
- 問合せ 県民の森総合案内棟
☎098-967-8092

募集

高校生の大学進学応援します

- 経済的に厳しいご家庭の高校生を対象に、大学や専門学校を受験対策を目的とした塾を県内11か所に開設しています。費用は無料です。対象者・場所・申し込み先は、お問い合わせください。
- 問合せ 男子ども未来政策課
☎098-866-2100

事業者向け共済加入者募集

- ①小規模企業共済
小規模企業の個人事業主、会社等の役員が商業又は退職した場合に共済金等が支払われます。
- ②経営者セーフティ共済
取引先が倒産し、売掛金債権等が回収困難になった場合に共済金の貸付が受けられます。

お知らせ

沖縄県最低賃金周知広報

- 沖縄県地域別最低賃金が、平成30年10月2日(水)より現行の時間額737円から25円引き上げられ、762円に改定、施行されます。
- 問合せ 沖縄労働局 賃金室
☎098-866-3421

広域地震・津波避難訓練

- 平成30年度「沖縄県広域地震・津波避難訓練」を実施します。
- 対象者 事前申請をいただいた参加団体
- 日時 11月5日(月)10時
- 場所 県内各地
- 問合せ お住まいの市町村防災担当窓
☎098-866-2143

住生活総合調査の協力依頼

- 12月1日に全国で住生活総合調査が行われます。本調査では、住生活全般に関する実態や意向・満足度等を調査します。11月下旬から調査票を配布し、郵送・オンラインにより回収しますので、ご協力をお願いします。
- 問合せ 県住宅課
☎098-866-2418

入札参加資格審査申請受付

- 平成31・32年度建設工事等入札参加資格審査申請受付を行います。
- 受付期間 12月3日(月)～平成31年1月22日(火)
- 問合せ 県技術・建設課
☎098-866-2374

未納診療費 回収強化月間



11月は、県立病院の未納診療費回収強化月間です。県立病院の運営は、皆様の医療費で成り立っています。医療費の支払いについては、各県立病院窓口までご相談ください。

～県民の皆様のご理解とご協力を
よろしくお願ひします～



麻薬・覚醒剤 乱用防止運動

「沖縄県麻薬・覚醒剤乱用防止運動」を10月1日から11月30日まで実施します。薬物に関するご相談は、最寄の保健所、又は総合精神保健福祉センターの相談窓口をご利用ください。

問合せ：県衛生課
☎098-866-2055

ゆるキャラ 「がじゅ丸」誕生!



沖縄県で初開催の全国育樹祭

2019年(平成31年)秋季に、第43回全国育樹祭を沖縄県で開催します。

県では、花や緑であふれる魅力的な県土の形成を図り、潤いとやすらぎのある「緑の美ら島」の創生を目指し、「全島緑化県民運動」に取り組んでいるところであり、当運動を強力に推進する活動の一環として、全国育樹祭を開催します。

全国育樹祭は、継続して森を守り育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるため、毎年秋に開催される国民的な緑の祭典で、沖縄県では初めて開催されます。県では、「うけつごう 豊かな緑と みんなの笑顔」を大会テーマに、お手入れ行事と式典行事や複数の併催行事が予定されています。

お手入れ行事は、会場を沖縄県平和創造の森公園とし、平成5年の第44回全国育樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木(リュウキュウマツやフクギ)に対し、皇族殿下に施肥をしていただきます。

式典行事は、会場を沖縄コンベンションセンターとし、皇族殿下の御臨席のもと、県内外から約4,000人が参加し、緑化功労者等への表彰、緑の少年団活動発表、アトラクションなどを行います。

これらの取組を全国に広くPRするために生まれたゆるキャラが「がじゅ丸」です。ゆたさるぐとうにげーさびら。

大活躍の緑の少年団

全国育樹祭や関連行事では、「がじゅ丸」と一緒に、緑の少年団も大活躍します。国旗等の掲揚、活動発表、緑の贈呈や育樹作業のお手伝いなど活躍の場は尽きません。緑の少年団とは、次代を担う子ども達が、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした団体で、学校や地域単位で結成され、学校や地域の緑化活動や美化活動、学習活動など様々な活動を行っています。身近に緑の少年団がいらっしゃる方は、温かい御支援をよろしくお願ひします。



今後のがじゅ丸

2019年秋季の開催に向け、県内各地で育樹行事、シンポジウムやイベントを実施予定です。全国育樹祭推進室のHP等を御確認の上、足をお運び頂き、ぜひ動く「がじゅ丸」を見つけてみてください。

沖縄 全国育樹祭 検索



<http://www.43-kujusa.okinawa/>

イベント情報

12/8 平成30年度国民参加の森林づくりシンポジウム

1/13 全国育樹祭イベントin平和創造の森公園

問い合わせ

全国育樹祭推進室 電話：098-866-2204 FAX：098-866-2622

英語でまち案内

海外から沖縄を訪れている外国人に
あなたの住むまちの魅力を英語で紹介してみましょう。

今日案内するのは...
宮古島市
Miyakojima City

大自然の恵みと
景観で魅了される島々

宮古島市は、沖縄本島から南西に約300km離れた宮古島全域と池間島、大神島、米間島、伊良部島、下地島から成る市です。大神島以外は橋で繋がっていて、車で渡ることが出来ます。なかでも、2015年に開通した全長3,540mの伊良部大橋は、通行料金を徴収しない橋としては日本最長の距離を誇ります。

宮古島市の名産といえはサトウキビとマンゴーです。特にマンゴーは甘くジューシーなことで知られ、高級フルーツとして海外へも多数出荷されています。他にゴーヤー等の施設園芸も盛んです。

宮古島市を代表する伝統行事では、国選択無形民俗文化財にも指定されているワイチャーが有名です。毎年11月にはワイチャーフェスティバルが行われ、各地域の個性的な歌い手や踊り手が一堂に会します。

Phrase 1 宮古島から伊良部島へは、全長 3,540mの橋を渡って渡ることが出来ます。

The 3,540m bridge allows for easy access to Irapu Island from Miyako Island.



宮古島には、伊良部大橋以外にもこれほど長い橋が数多くあります。

Phrase 2 宮古島は果物の名産地です。とくにマンゴーは、品質が高く、高級品として知られています。

Miyako is famous for the delicious fruit grown on the island. The mangos are particularly high quality, and known to be among the finest.



マンゴー農園では、6月から7月にかけて収穫のピークを迎えます。

多くの人が橋に立って思いっきりワイチャーの囃子です。



Phrase 3 宮古島には「ワイチャー」という伝統的な歌と踊りがあります。毎年11月には、ワイチャーフェスティバルが行われます。

Kuichaa is a traditional song and dance performed on Miyako Island. The Kuichaa Festival is held annually in November.



「WELCOME TO MY CHURA TOWN」
宮古島市の観光大使
野村 幸仁(ゆむら ゆきひと)
(台湾出身) **103**

在任外国人おススメ!
おもしろスポット
保良漁港の浜

漁港の横にある美しい浜で、海の透明度が高くサンゴと魚がいっぱい。自然や新築などの有るビーチに比べて人が少なく、泳ぐのもよし、何もしずから時間を楽しむのもよし。大好者の場所です。



☑ 沖縄県宮古島市城辺 ☑ あり



アンケート

- Q1 今号をどこで手に入れましたか。または何でご覧になりましたか？
- Q2 今号の「美ら島沖縄」で面白かったページは何ですか？ またその理由は？
- Q3 今号の「美ら島沖縄」で役立つページは？
- Q4 「美ら島沖縄」で取り上げてほしい内容は？
- Q5 「美ら島沖縄」に関する率直なご意見、ご感想があればお聞かせください。

応募締切：2018年11月30日(金)必着

美ら島沖縄・うまんちゅひろばのアンケートにお答えいただいた方から抽選で、毎月10名様に県産品をプレゼント!

今月のプレゼント



株式会社 ティダファクトリ
「宮古島のしあわせマンゴー」ネクター
お一人様/ワンタイプ3本セット

「宮古島の太陽をたっぷり浴びた“完熟マンゴー”を賞識に使用したとろ〜りあま〜いネクター。クラッシュアイスにそそくとさっぱり甘く、凍らせるとシャーベットとしても!寒い時期には温めて!!宮古島土産で2016年発売以来8万本を売上げる宮古島から自慢の県産品です♪

商品に関する
問い合わせ

提供/株式会社 ティダファクトリ
TEL.0980-76-4183(「宮古島のしあわせマンゴー」で検索)
受付時間/9:00~17:00 休日/土・日、祝祭日

応募方法

①上記アンケートへの回答 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
⑥電話番号を必ずお書きのうえ、下記の宛先までご応募ください。

宛先

ハガキ:〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 広報課あて
FAX:098-866-2467

電子メール: kouhou@pref.okinawa.lg.jp

10
名様

●「11月号プレゼント係」と明記ください。
抽選の上、プレゼントを差し上げます。

- プレゼントの発送をもって発表と代わさせていただきます。
- 個人情報にはプレゼントの発送のみ情報として使用します。

広報課から 11月のお知らせ

県政広報テレビ番組
「うまんちゅひろば」
毎週土曜日・日曜日

- 琉球朝日放送 (QAB) 土 15:55 ~ 16:00
- 琉球放送 (RBC) 日 16:54 ~ 16:59

- 11月 3日・4日/保育士の確保について
- 11月10日・11日/離島フェア2018
- 11月17日・18日/児童虐待防止対策について
- 11月24日・25日/航空関連産業クラスター形成の取組

ラジオ
県民室
県政広報ラジオ番組
「ラジオ県民室」

毎週月曜日～金曜日

- ラジオ沖縄(86.4kHz) 11:50 ~ 11:55
- RBCラジオ(73.8kHz) 11:55 ~ 12:00
- FM 沖縄(87.3MHz) 12:55 ~ 13:00

自治体広報紙配信「マチイロ」

自治体広報紙配信スマートフォンアプリ「マチイロ」に「美ら島沖縄」を掲載しています。「マチイロ」サイト(外部サイトリンク)から専用アプリをダウンロードしてご覧ください。



県政
出前講座

県政出前講座実施中!

現在、111テーマの講座を提供中!県の職員が講師として出向きます。詳しくはホームページをご覧ください。

ホームページ/バナー
広告募集集中!

バナー広告を募集中です。詳しくはホームページをご覧ください。

広報課 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 E-mail: kouhou@pref.okinawa.lg.jp

読者の声

- 「カフェナ旭橋A街区オープン」建設中から近くを通ることがあり、楽しみにしていました。開業時には必ず寄りたいです!(石垣市)
- 「琉球大文芸時代」コンパウンドに歴史がまとめられていて分かりやすかった。(沖縄市)
- これからの沖縄の未来、貧乏もさらに拡大していってほしいです。(愛知県)
- 今まで知らなかった琉球のことを知ることができ、興味があった。(うるま市)
- 子どもの教育ハンドブックは役立ちました。活用したいと思います。(沖縄市)
- 「英語でまち案内」大好きな沖縄の魅力を伝えることができる素晴らしいですね。(北谷町)
- 簡単に出来る沖縄料理情報が載っているといいたいと思う。(那覇市)
- 読める観光スポットと食べ歩き・スイーツ特集を取り上げてほしい。(東京都)
- 子育て情報があると嬉しいです。資格の情報なども。(八重瀬町)
- 琉球芸術について取り上げてほしい。(南風原町)
- おじい、おばあが使う言葉(奥ことば)について知りたい。(大宮味村)

11月23日・25日 琉球朝日放送/琉球放送 30分
11月23日・25日 琉球朝日放送/琉球放送 30分
11月23日・25日 琉球朝日放送/琉球放送 30分